

LUMINE 0 + H.P.FRANCE N.Y. Inc.

現代美術とグラフィティ文化を横断する、今注目のアーティストがNYから来日！

【大山エンリコイサム個展「Windowsill」開催】

会期：2017年6月29日（木）～7月4日（火）

会場：LUMINE 0（ルミネゼロ）

株式会社ルミネ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：新井良亮）が手掛ける商業施設「NEWoMan」（ニューマン）内文化交流施設「LUMINE 0（ルミネゼロ）」は、H.P.FRANCE N.Y. Inc.と協業し、大山エンリコイサム個展「Windowsill」を2017年6月29日（木）～7月4日（火）の期間で開催いたします。



Enrico Isamu Oyama, *FFIGURATI #20*
Acrylic-based aerosol, acrylic-based marker, graphite,
pencil and sumi ink on unstretched canvas
(H)3.37m x (W)2.45m
2012
© Enrico Isamu Oyama
Photo © Yojiro Imasaka
Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art

「JAPAN CREATIVE TERMINAL」をコンセプトとするLUMINE0では、「アートを通じた世界と日本の文化交流」をテーマとしたエキシビジョンを開催いたします。アーティストはコム デ ギャルソンやシュウ ウエムラとのコラボレーションなど幅広い活動で注目される、NY在住の日本人アーティスト・大山エンリコイサム氏を起用、本企画のために来日し新作を発表いたします。



大山エンリコイサム

アーティスト。1983年、イタリア人の父と日本人の母のもと東京に生まれる。グラフィティ文化の視覚言語を翻案したモチーフ「クイック・ターン・ストラクチャー（Quick Turn Structure）」をベースに壁画やペインティングを発表し、注目を集める。コム デ ギャルソンやシュウ ウエムラとのコラボレーション、著書『アゲインスト・リテラシー—グラフィティ文化論』（LIXIL 出版）の刊行など広く活動している。現在ニューヨーク在住。

<http://www.enricoisamuoyama.net>

Photo by WOWE

■大山エンリコイサム個展「Windowsill」開催概要

*会期：2017年6月29日（木）～7月4日（火）

*時間：11:00～19:00

*会場：「LUMINE 0」（東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目24番55号 NEWoMan 5F）

*URL：<http://www.lumine.ne.jp/luminezero/event/>

*入場料：無料

*主催：株式会社ルミネ

*協力：Takuro Someya Contemporary Art, hgrp GALLERY

☆会期中にはスペシャルイベントとして、ゲストをおよびトークショーを開催いたします。（別紙参照）

<News Release>

■スペシャルイベント【トークショー】

7月1日(土)・2日(日)に、特別イベントとして、大山氏によるスペシャルトークショーを開催。世界を飛び回り活躍する2名をゲストに迎え、「アート」「グローバル」「NYと日本」等をテーマに、よりアートを身近に感じていただけるイベントを実施いたします。

参加希望の方は、専用アドレス (mail;lumine_event@hpgrp.com) にて事前に要予約、定員に達し次第終了。

▼日時：2017年7月1日(土) 14:00~15:00

*会場：「LUMINE 0」

*ゲスト：uchiide (シュウ ウエムラ インターナショナル アーティストイック ディレクター) ブランド創業者、植村秀氏から直接メイクアップを学ぶ。キャンペーンヴィジュアルのアートディレクション、商品開発、アーティスト教育などのほか、パリファッションウィークでのバックステージワークも担当。



▼日時：2017年7月2日(日) 14:00~15:00

*会場：「LUMINE 0」

*ゲスト：小松 隼也 (弁護士/アートコレクター)

アーティストやデザイナーといったクリエイターを支援する専門家団体「Arts & Law」に所属。ニューヨークにて、アート、ファッション、デザインに関する最先端の事例や裁判を研究した後に帰国。契約交渉や裁判をはじめ、法律の制定に関する政策提案などの活動も行う。



■大山エンリコイサム「Windowsill」について

Windowsill は、観葉植物などが置かれる窓際のスペース、いわゆる窓台を指す言葉です。ルネッサンス期の建築家アルベルティの提唱以来、絵画は長らく窓のメタファーで語られてきました。それを踏まえながら大山は、窓台のイメージをそこに組み込むことで、より複雑な空間を考えたいと言います。

一般に、窓から見える風景は現実には繁茂する連続性をもった自然です。それは窓枠に区切られることで、ひとつのピックアップチャーとして与えられます。手前の窓台に置かれる観葉植物は、鉢に収められることで切り取られ、造形物として個体化した自然です。この二種の自然が窓を介して重なるとき、連続する空間を背景に、複数の個体が林立するような多層的な感覚が生じます。同じ自然として緩やかにつながる二つのレイヤーは、相互に溶け合いながら浮き沈みするプッシュ・アンド・プル運動も織り上げていきます。

こうした様子は、本展に出品予定の作品に通じていると大山は述べます。背景の躍動感あふれる描線は、身体運動の直接的な転写であり、生み出される空間は枠を超えて自然発生的に広がります。そのうえに、大山の主要なモチーフであるクイック・ターン・ストラクチャーが、描線のつらなりを端正に構造化した図像として配置されています。二つのレイヤーは、自然の線と構造の線として相互に編み合いながら、視覚的なダイナミズムが形成されていきます。

いくつかの作品では、底部に帯状の黒い面が見られます。本展出品作は、木枠にストレッチせず、キャンバスを壁にピン留めして制作されましたが、作品によっては底部が床にはみ出されていました。作家はそこに立ち作業をしたため、足跡が痕跡として画面に映り、また塗料のドリップが底に溜まることで黒い面が生じています。この黒い面は、それ自身が窓台のメタファーです。こうして異なる位相に属する空間が束ねられることで、画面はいつそう豊かなものになります。

大型作品を一挙に展示する日本では貴重な機会の個展となります。この機会にぜひご高覧下さい。

■6月28日(水)19:30~ ご招待客限定レセプション PARTY 開催

会期前日に、ルミネ顧客さま(事前抽選によるご招待客)および、プレス関係者限定でレセプションパーティーを開催いたします。大山エンリコイサムと親交の深いシッド・カフカ氏をゲストに迎え、アート×音楽の1日限定パフォーマンスセッションを披露いたします。是非ご来場くださいませ。

*レセプション PARTY 日時：2017年6月28日(水)19:30~21:30

*パフォーマンスセッション 20:00-20:30

*会場：「LUMINE 0」



シッド・カフカ

メキシコ出身。ドラムヴォーカルのスタイルで2012年CDデビュー。2013年9月ファーストアルバム「カフカナイズ」発売。2015年6月にはセッション・ミニアルバム「K⁵ (Kの累乗)」をリリースし、Zepp TOKYO でワンマンライブも開催。

2016年4月セカンドアルバム「トリドリ」リリース。最新作は2017年2月リリースのミニアルバム「DO_S」。各フェスへの出演や、映画、TVドラマ、バラエティ、TVCMへの出演など、ミュージシャンとしてだけでなく、女優、モデルとしての活動も積極的に行うなど多方面で活躍中。NHK連続テレビ小説「ひよっこ」に6月より出演。

<http://www.shishido-kavka.com>

<News Release>

<参考資料>



Enrico Isamu Ōyama, *Choja-Machi Mural Project*, 2010
Choja-Machi, Nagoya City, Aichi Pref., Japan
© Enrico Isamu Ōyama
Photo © Takahiro Tsushima
Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art



Enrico Isamu Ōyama, *FFIGURATI #40, right wall*, 2013
Hausprojekt M29, Berlin, Germany
© Enrico Isamu Ōyama
Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art



Enrico Isamu Ōyama, *FFIGURATI #87*, 2014
Isetan, Shinjuku, Tokyo, Japan
© Enrico Isamu Ōyama
Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art



Enrico Isamu Ōyama, *FFIGURATI #105A*, 2015
© Enrico Isamu Ōyama
Makeup © uchiide (shu uemura)
Photo © Yoshiaki Sekine
Model © Ami Suzuki (Satoru Japan)
Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art



Enrico Isamu Ōyama, *FFIGURATI #105B*, 2016
© Enrico Isamu Ōyama
Makeup © uchiide (shu uemura)
Photo © Yoshiaki Sekine
Model © Ami Suzuki (Satoru Japan)
Courtesy of Takuro Someya Contemporary Art

【本リリースに関するお問い合わせ・ご取材依頼先】

株式会社ワンオー / PR01. (Tel: 03-5774-1420)

担当; 三上、小谷 (Mail: kotani@one-o.com)